

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

前立腺癌に対するホルモン療法により骨格筋量に影響を及ぼす因子探索

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 雑賀隆史（泌尿器科 教授）

【研究の目的】

前立腺癌治療におけるアンドロゲン遮断療法 (androgen deprivation therapy : ADT) の副作用として、アンドロゲンの低下による骨格筋量の減少を来することが知られています。本研究では、前立腺癌に対して ADT を開始した患者さんの治療前後における血液データ、骨格筋量の変化等を詳細に検討することで、骨格筋量減少に関与する因子を同定し、将来的に臨床応用に繋げることを目的とします。

【研究の方法】

(対象となる患者さん) 2022年8月から2023年6月までの間に愛媛大学医学部附属病院、四国がんセンター、県立中央病院、市立宇和島病院、松山赤十字病院において前立腺癌に対して ADT を新規に開始された患者さん

(利用するカルテ情報) 年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、腫瘍マーカー、画像検査データ、臨床病期、治療状況 等

(利用する試料) 該当なし

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-R等に保存した電子ファイルを郵送することによって当院へ送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 泌尿器科 大西智也

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院泌尿器科 大西智也
791-0295 愛媛県東温市志津川 454
Tel: 089-960-5356